

## 保育のヒント～「科学する心」を育てる～

### 不思議や疑問から生まれる「科学する心」／なの花保育園

夢中になって遊ぶ子どもたちは、どのような場面で不思議さを感じたり疑問をもったりしているのでしょうか？

今回は、子どもたちに「科学する心」が育まれる「不思議や疑問が生まれる場面」に注目して、色水遊びを紹介いたします。



### 不思議な色水屋さん／4歳児

#### 1. 色水遊びが始まる

色水遊びを始めたKちゃん中心に、園庭で咲く花で色水遊びを楽しむ。シソの匂いを感じながら、手で絞り色が変わる様子を楽しむ姿がある。

#### 2. ジュース屋さんになる

シソの穂をカップに詰め込んで水を入れ「チョコレートジュース」になる。シソの葉をカップに入れて「いい匂いがする」と言い、ジュースを作る。少量のシソの葉をこする「さくらんぼジュース」になる。

##### 考察

- 葉や水の量を考えて作り、自分たちなりの言葉でジュースに見立てて遊ぶ。
- 臭覚を敏感に働かせて、気付いたことを遊びに取り入れている。
- シソの葉の裏表を交互に見て、「こっちは緑、こっちは茶色」と言い、観察して気付いた不思議を言葉にする。



#### 3. ジュース屋さんを楽しむ

アサガオなどの花、葉、木の実、砂、泥などで色水を作るようになる。

多くの種類の色水ができるようになり、「お味噌汁」「葉っぱのジュース」「チョコレートジュース」に加え、「レモンとイチゴ、ミカンのかき氷ジュース」「ミックスジュース」など、ジュースの種類が増える。

Sちゃんが枯れている黒い葉を持ち、「見て！黒い葉っぱだ！」と言う。保育者が「どんな色水になるかな？」と見ていると、Sちゃんは「たぶん黒だよ」と言い、色水を作ろうとするが、「色水できん」と言う。



##### 考察

- 葉や水の量や、できた色水の混ぜ方を考えて作り、いろいろな種類の色水の特徴を感じ取り、自分たちなりの言葉でジュースに名前を付けて遊ぶ。

- 扱うものによって、色の出方が違うことを感じ、色が出るように工夫する。
- 葉の色が黒くても、色が出ないことを不思議に思う。

#### ✿ 4. 流しそうめん！？遊びに展開する

築山に溝を掘り、いろいろな水を流す。

Cちゃんが「流しそうめん屋さん、来てくださーい！」と言う。

Aちゃんはオレンジ色の色水を流し「オレンジジュース流し！」と言う。次に、透明の水を流し「あれー？透明な水なのに、流したら泥水だー」と言う。

保育者が「本当だね。どうしてかな？」と言うと、Sちゃんが「流すところに砂があるけんだよ」と言う。

##### 考察

- 水を流すイメージの流しそうめんと、楽しんできた色水を取り入れて、新たな発想で遊びが生まれる。
- 色水や水を築山に流すことで、水の色が変わることに気付く。
- 泥水になることは、今までの遊びの経験から納得できる因果関係を言える。



無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム  
幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」